

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
工学部	機械工学科	夜・通信			26	26	13	
	情報工学科	夜・通信			22	22	13	
	電気電子工学科	夜・通信			14	14	13	
	建築学科	夜・通信			46	46	13	
	都市環境学科	夜・通信			38	38	13	
薬学部	薬学科	夜・通信			51	51	19	
保健医療学部	看護学科	夜・通信			89	89	13	
	理学療法学科	夜・通信			36	36	13	
	義肢装具学科	夜・通信			95	95	13	
	臨床工学科	夜・通信			44	44	13	
	診療放射線学科	夜・通信			66	66	13	
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	夜・通信			14	14	13	
	人間社会学科	夜・通信			33	33	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表

<https://navi.hus.ac.jp/system/>

各学科ページの「授業計画書（シラバス）」欄にリストを掲載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人のホームページ (<https://ed.hus.ac.jp/about/soshiki/>) にて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 コバエンジニア 代表取締役	2023. 5. 26 ～ 2025. 5. 25	卒業生の見地から 助言
非常勤	田中・山崎法律事務所 所長、弁護士	2023. 5. 26 ～ 2025. 5. 25	法令分野の知見か ら助言
非常勤	株式会社北海道二十一 世紀総合研究所 顧問	2023. 5. 26 ～ 2025. 5. 25	社会貢献分野の知 見から助言
非常勤	医療法人溪仁会 理事長	2023. 5. 29 ～ 2027. 5. 28	薬学・保健医療分野 の知見から助言
非常勤	一般社団法人札幌観光 協会 特別参与	2021. 5. 26 ～ 2025. 5. 25	地域活性の知見か ら助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の構成】 本学のシラバスは、以下の項目で構成されている。 (工学部・保健医療学部・未来デザイン学部)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業の目的 3. 授業の方法 4. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む) 5. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応 6. 達成目標 7. 履修に当たっての留意点 8. 試験及び成績評価の方法 <p>(薬学部)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業概要 3. 一般目標(GIO) 4. 到達目標(SBO;薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠) 5. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む) 6. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応 7. 試験及び成績評価の方法 8. 関連科目 <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 ・「シラバス作成要領」(本学Webサイトで公表。 https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2023/docs/syllabus-yokou-2023.pdf) に基づき、学生支援センターから各学部・学科に対してシラバスの作成を依頼する。 作成要領には、上記シラバス項目についてそれぞれ注意点等を明記している。 ・各学部・学科においては、非常勤を含め、授業担当の教員にシラバス作成を依頼し、原稿が完成すると、学科内で分担を決めピアレビューを行う。その後、「学科教育自己点検会議」を開催し、修正点を集約、組織的な審議・確認によりシラバス原稿を完成させる。</p>

<p>・完成した全科目のシラバスは本学教育系基幹システム「HUS-UNIPA」にシラバス検索ページのリンクを貼り、学生のみならず、学外者にも公開している。 (https://unipa.hus.ac.jp/uprx/)</p> <p>【授業計画書の作成・公表時期】 シラバスは9月～1月の間で作成並びに上記の組織的な点検を終え、事務的なチェックを経た後、3月下旬までに本学Webサイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学Webサイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表 https://navi.hus.ac.jp/system/ 各学科ページの「授業計画書（シラバス）」にシラバス検索ページのリンクを公表</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学のディプロマ・ポリシーは、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の3要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。 ・各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されている。※薬学部の科目では薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応を示すSBOsが授業の到達目標として設定されており、SBOsを観点別にまとめてディプロマ・ポリシーの項目と対応させている。 ・これにより各科目の達成目標（到達目標）も観点別に設定されている。 ・各科目の成績評価においては、達成目標（到達目標）の観点にふさわしい手段を用いて達成状況の評価している。具体的には、「知識・理解」に対応するものの達成状況は主に試験を用いて評価するが、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行う。 ・達成目標（到達目標）とディプロマ・ポリシーの項目との対応及び達成目標（到達目標）ごとの成績評価手段とその比率については、シラバス上に表で明示している。 ・成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計100点に対する60点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S:90～100点)、優(A:80～89点)、良(B:70～79点)、可(C:60～69点)、不可(D:0～59点)に分け、可以上を合格とする。 ・卒業研究の評価については、学則第12条第2項に従い、成果を含めた評価の手段と基準を学科会議等で組織的に検討する。 ・アセスメント・ポリシーに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価で使用した資料などを学科教育自己点検会議にて組織的に点検し検討することで、客観的、厳格かつ公正な成績評価を行うための不断の改善・改革を行う。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における客観的な成績評価指標は、わが国の大学で標準的に用いられているGPAを採用しており、以下のとおり算出している。 (1) 当該セメスタでの学修結果に対するGPA-S (=GPA for Semester) (2) 当該セメスタまでの学修結果に対するGPA-T (=GPA for Terms) <p>GPA算出対象科目は履修登録した科目である。ただし、教職科目及び単位認定された科目は除く。</p> $\text{GPA} = \frac{\text{科目の(単位数} \times \text{GP)の総和}}{\text{履修登録し、評価を受けた科目の総単位数}}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学Webサイト「HUSナビ・教務ブック」内「成績評価ガイドライン」において公表</p> <p>https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/gakubu-grade-guidelines.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、学科単位で策定している。 ・ディプロマ・ポリシーの内容は、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の3要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。 <p>(具体例：工学部機械工学科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>機械工学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。 2. 課題を発見し、問題を解決する力 数理能力を含めた専門的な知識を獲得し、情報機器を用いて情報を正確に伝えることができ、論理的に分析・思考することができる。 3. 自らを律し、学び続ける力 目標達成に向け計画的に行動する能力を有し、知識から知恵へと転換できるように、能動的学習を通して考え行動することができる。 4. 他者と協力して目的を達成する力 人類、文化の発展、歴史的背景を理解し、諸問題解決のために必要な知識を持ち合わせ、他者と協力しながら活用できる。 5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 機械工学に必要な知識と技能を獲得し、機械工学分野の実験を計画・実施及び解析、レポートにまとめることができる。 	

6. 総合力

複雑な工学的問題を解決する能力及び表現力を備え、将来機械技術者として必要な専門分野を統合・発展させることができる。

- ・卒業の認定については、学則並びに履修規程に基づき、必要な単位の修得及び卒業付帯条件を満たしていることを教授会等で審議の上、学長が決定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイト「情報公表」において全学科分を公表
<https://www.hus.ac.jp/about/public-info/dp/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
収支計算書又は損益計算書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
財産目録	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
事業報告書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
監事による監査報告(書)	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:重点実施施策)	対象年度:2023年度)
公表方法: https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/	
中長期計画(名称:第2期中期事業計画)	対象年度:2020-2024年度)
公表方法: https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.hus.ac.jp/about/assets/documents/project/evaluation/eva-univ_report2021.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.hus.ac.jp/about/assets/documents/project/evaluation/eva-kanbetsu_report2021.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部、薬学部、保健医療学部、未来デザイン学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/info/spirit/) (概要) 本学は、「科学的市民※」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命としている。また別途、学部・学科ごとに人材育成の目的を設定し、学内・学外へ周知している。 ※科学的市民とは「豊かな人間性ととともに、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材」をさす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/dp/) (概要) ・本学における卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、学位プログラムたる学科単位で策定している。 ・ディプロマ・ポリシーの内容は、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質 (学士力、社会人基礎力、学力の 3 要素等) を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/cp/) (概要) ・本学における教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) は、ディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程の編成・実施・評価について定めており、学科単位で策定している。 ・ディプロマ・ポリシーの各項目と授業科目の関連については、体系的に理解するためのカリキュラム・フロー、科目の達成目標との関連性を集約したカリキュラム・マップを作成している。 ・学修成果やカリキュラムの点検・評価の方針についてはアセスメント・ポリシーとして定めている。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/ap/) (概要) 建学の精神、教育目的に基づき学科別に 5 項目 (①基本方針②求める人材像と学力の 3 要素③学力の 3 要素と求める多元的な評価④入学選抜方法における評価の比重⑤入学前に習得すべき内容・水準) から成るアドミッション・ポリシーを策定している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/about/info/chart/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4人	－					4人
工学部	－	30人	18人	7人	4人	0人	59人
薬学部	－	25人	15人	11人	4人	0人	55人
保健医療学部	－	27人	14人	13人	15人	3人	72人
未来デザイン学部	－	11人	10人	1人	0人	0人	22人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		206人					206人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学のホームページ (https://gyoseki.hus.ac.jp/hushp/KgApp/)にて公表					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FDのための総括的組織として、北海道科学大学FD委員会を置き、次の事項について組織的教育力の向上、教育の質保証に資する諸活動を行う。							
(1) 「教育履行上求められる資質・能力」の向上を図るための研修に関すること (2) 全学的FDの計画立案と実施に関すること (3) 教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること (4) 授業改善のためのアンケートに関すること (5) FDのための組織体制に関すること (6) その他組織的教育活動に必要と認められる事項							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	392人	370人	94.4%	1,568人	1,643人	104.8%	人	2人
薬学部	180人	201人	111.7%	1,080人	1,135人	105.1%	人	0人
保健医療学部	290人	314人	108.3%	1,160人	1,238人	106.7%	人	0人
未来デザイン学部	130人	116人	89.2%	520人	590人	113.5%	人	0人
合計	992人	1,001人	100.9%	4,328人	4,606人	106.4%	人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	364人 (100%)	11人 (3.0%)	345人 (94.8%)	8人 (2.2%)
薬学部	175人 (100%)	6人 (3.4%)	135人 (77.1%)	34人 (19.4%)
保健医療学部	277人 (100%)	5人 (1.8%)	266人 (96.0%)	6人 (2.2%)
未来デザイン学部	152人 (100%)	0人 (0.0%)	147人 (96.7%)	5人 (3.3%)
合計	968人 (100%)	22人 (2.3%)	893人 (92.3%)	53人 (5.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北海道科学大学大学院、株式会社つうけん、北海電気工事株式会社、岩田地崎建設株式会社、北海道開発局、株式会社アインファーマシーズ、株式会社ツルハ、手稲溪仁会病院、北海道大学病院、市立札幌病院、株式会社イーテック、アイシン・ソフトウェア株式会社、株式会社加森観光本社 他				
(備考) 詳細はホームページに記載 (https://www.hus.ac.jp/recruit/data/)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	421人 (100%)	341人 (81.0%)	27人 (6.4%)	53人 (12.6%)	人 (%)
薬学部	219人 (100%)	132人 (60.3%)	62人 (28.3%)	25人 (11.4%)	人 (%)
保健医療学部	323人 (100%)	262人 (81.1%)	22人 (6.8%)	39人 (12.1%)	人 (%)
未来デザイン学部	175人 (100%)	146人 (83.4%)	13人 (7.4%)	16人 (9.1%)	人 (%)
合計	1,138人 (100%)	881人 (77.4%)	124人 (10.9%)	133人 (11.7%)	人 (%)
(備考) 修業年限内卒業生数には、工学→未来：1名、保健→工学：1名、保健→未来：6名の転学者計8名を含む。留年者数には、保健→未来：4名の転学者を含む。 それぞれ、転学部への元の入学者数を減らし、転学部先の入学者を増やして計上。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【授業計画書 (シラバス) の構成】</p> <p>本学のシラバスは、以下の項目で構成されている。</p> <p>(工学部・保健医療学部・未来デザイン学部)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業の目的 3. 授業の方法 4. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む) 5. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応
--

6. 達成目標
7. 履修に当たっての留意点
8. 試験及び成績評価の方法

(薬学部)

1. 授業の基本的情報
(科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員)
2. 授業概要
3. 一般目標(GIO)
4. 到達目標(SBO；薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠)
5. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む)
6. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応
7. 試験及び成績評価の方法
8. 関連科目

【授業計画書(シラバス)の作成過程】

- ・「シラバス作成要領」(本学 Web サイトで公開。
<https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2023/docs/syllabus-yokou-2023.pdf>)に基づき、学生支援センターから各学部・学科に対してシラバスの作成を依頼する。作成要領には、上記シラバス項目についてそれぞれ注意点等を明記している。
- ・各学部・学科においては、非常勤を含め、授業担当の教員にシラバス作成を依頼し、原稿が完成すると、学科内で分担を決めピアレビューを行う。その後、「学科教育自己点検会議」を開催し、修正点を集約、組織的な審議・確認によりシラバス原稿を完成させる。
- ・完成した全科目のシラバスは本学 Web サイト内の「HUS ナビ・教務ブック」に PDF ファイルとして収録され、学生のみならず、学外者にも公開される。

【授業計画書の作成・公表時期】

シラバスは9月～1月の間で作成並びに上記の組織的な点検を終え、事務的なチェックを経た後、3月下旬までに本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

- ・本学のディプロマ・ポリシーは、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質(学士力、社会人基礎力、学力の3要素等)を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。
- ・各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されている。※薬学部の科目では薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応を示すSBOsが授業の到達目標として設定されており、SBOsを観点別にまとめてディプロマ・ポリシーの項目と対応させている。
- ・これにより各科目の達成目標(到達目標)も観点別に設定されている。
- ・各科目の成績評価においては、達成目標(到達目標)の観点にふさわしい手段を用いて達成状況を評価している。具体的には、「知識・理解」に対応するものの達成状況は主に試験を用いて評価するが、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行う。
- ・達成目標(到達目標)とディプロマ・ポリシーの項目との対応、及び達成目標(到達目標)ごとの成績評価手段とその比率については、シラバス上に表で明示している。
- ・成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計100点に対する60点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S:90～100点)、優(A:80～89点)、良(B:70～79点)、可(C:60～69点)、不可(D:0～59点)に分け、可以上を合格とする。

<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究の評価については、学則第 12 条第 2 項に従い、成果を含めた評価の手段と基準を学科会議等で組織的に検討する。 アセスメント・ポリシーに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価で使用した資料などを学科教育自己点検会議にて組織的に点検し検討することで、客観的、厳格かつ公正な成績評価を行うための不断の改善・改革を行う。 				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	情報工学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	電気電子工学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	建築学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	都市環境学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
薬学部	薬学科	186 単位	㊟・無	学期毎 20 単位
保健医療学部	看護学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	理学療法学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	義肢装具学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	臨床工学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	診療放射線学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
未来デザイン学部	メディアデザイン 学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
	人間社会学科	124 単位	㊟・無	学期毎 22 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/gakubu-grade-guidelines.pdf (成績評価ガイドライン)		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 「国家試験合格率」 https://www.hus.ac.jp/academics/nationalexam-passrate/ 「学生の学修時間に関するデータ」 https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2022/docs/ir-consortium-2021.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：[https://www.hus.ac.jp/about/public-info/#校地・校舎等の施設及び設備
その他の学生の教育研究環境](https://www.hus.ac.jp/about/public-info/#校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,300,000 円	200,000 円	-		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,500,000 円				
保健医療 学部	看護学科	1,500,000 円				
	理学療法学科	1,350,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科					
	診療放射線学科	1,500,000 円				
未来デザ イン学部	メディアデザ イン学科	980,000 円				
	人間社会学科					

【2年次以降】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,300,000 円	-	-		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,900,000 円				
保健医療 学部	看護学科	1,500,000 円				
	理学療法学科	1,350,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科					
	診療放射線学科	1,500,000 円				
未来デザ イン学部	メディアデザ イン学科	980,000 円				
	人間社会学科					

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の学習支援を目的として全学的に「学習支援室」「ラーニングサポート室」を設置している。「学習支援室」「ラーニングサポート室」では英語・数学・物理の指導を行う他、学習方法に関する相談に対応している。また、薬学部では「学習相談室」を設置し、薬学教育学分野の教員へ学習の相談を行うこともできる。 学生からの学業や学生生活全般にわたる質問や相談に対し、教員は授業時間内のみならず日常的に時間の許す限り対応しているが、学生とコミュニケーションを図る時間帯（オフィスアワー）も設定している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 低学年次からのキャリア支援プログラムである「ステップアップ講座」を通じて、学生一人ひとりが希望の進路へ進むことができるようサポートしている。また、4学部13学科を擁するため、学科ごとの就職活動の特色に合わせた就職支援を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・毎月、学校医(内科・精神科)による健康相談日を設け、学内で面談等を実施。 ・学内でのインフルエンザワクチン接種(料金は自己負担)。 ・ガイダンスにて障がい学生支援・学生相談室の利用に関するパンフレットを配布。 ・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、カウンセリングを実施。 ・学生医療互助会(外郭団体)における医療費の給付事業、100円朝食の提供。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/about/public-info/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F101310100203
学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		498人	489人	518人
内 訳	第Ⅰ区分	302人	297人	
	第Ⅱ区分	109人	121人	
	第Ⅲ区分	87人	71人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				-
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	21人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	15人	0人	0人
計	36人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	後半期	年間計
0人	0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	52人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	52人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。